

、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

# 1年

※年度末の学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。

※上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをすること

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
◆身の回りの書き文字を探そう (表紙裏) ○身の回りの書き文字を探し、書き文字に興味をもつ。	適宜	適宜	○身の回りの様々なところで使われている書き文字を探し、文字文化としての書き文字の良さについて話し合う。	【関】身の回りの手書き文字に興味をもっている。
◆学習の進め方 (P2-3) ○書写学習の進め方を理解する。	適宜	適宜	○例示されている学習手順やコラムを読み、毛筆学習の効率的な進め方や意義を理解する。	【関】毛筆学習の手順、意義などについて意欲的に確かめている。 【知】毛筆学習の効率的な進め方や意義について理解している。
◆学習の前に確認しよう (P4) ○用具の名称、用具の置き方や使い方を知る。	適宜	適宜	○毛筆と硬筆の姿勢や毛筆の持ち方、墨のすり方などを理解する。	【関】書字の姿勢や筆の持ち方、用具の名称や使い方について意欲的に確かめている。 【知】書字の姿勢や筆の持ち方、用具の名称や使い方について理解している。
一 楷書を書こう ◆字形を整えて書こう「天地」 ◆基本的な点画の復習 ◆字形を整えて書こう「登頂成功」 (P5-11) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○楷書の基本的な点画の筆使いに注意しながら、字形を整えて書く。	4	2	○小学校で学習したことを想起し、楷書の基本的な筆使い(点・横画・右払い・左払い・縦画・折れ・曲がり・反り)を確認する。 ○文字の形と部分が、字形を整えるために必要であることを理解して「天地」を書き、自己の課題を確認する。 ○前時までの自己の課題を確認して、「天地」のまとめ書きをする。	【関】楷書の基本的な点画の筆使いを意欲的に確かめている。 【知】楷書の基本的な点画の筆使いを理解している。 【技】字形を整えるために、文字の形と部分、筆順に注意して書いている。
		2	○筆順が字形を整えるために必要であることを理解して「登頂成功」を書き、自己の課題を確認する。 ○前時までの自己の課題を確認して、「登頂成功」のまとめ書きをする。	
◆硬筆で書いてみよう (P12-15) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○楷書の字形の整え方を理解して書く。	1	1	○毛筆で学習したことを意識して、硬筆で「天地」「登頂成功」を書く。 ○字形を整えるためのポイントを理解して書く。 ○誤りやすい筆順があることを理解して、硬筆で漢字を書く。	【関】毛筆で学習した楷書の字形の整え方を意欲的に生かそうとしている。 【知】楷書の字形を整えるためのポイントを理解している。 【技】毛筆で学習した楷書の字形の整え方を理解して書いている。
二 楷書と仮名を書こう ◆仮名の特徴を理解して書こう「ぶなの森」 (P17-21) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○楷書と平仮名を調和させて書く。	2	2	○筆脈や筆圧、漢字と平仮名のバランスが、楷書と平仮名の調和に必要なことを理解して「ぶなの森」を書き、自己の課題を確認する。 ○前時までの自己の課題を確認して、「ぶなの森」のまとめ書きをする。	【関】筆脈や筆圧、漢字と平仮名のバランスを意欲的に確かめている。 【知】筆脈や筆圧、漢字と平仮名のバランスが楷書と平仮名の調和に必要なことを理解している。 【技】筆脈や筆圧、楷書と平仮名のバランスに注意して書いている。
◆楷書に調和する仮名「いろは歌」 (P22-23) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○平仮名の筆使いを理解して書く。	3	1	○「いろは歌」について理解する。 ○前時までに学習した楷書に調和する平仮名の筆使いを確認して、「いろは歌」を書く。	【関】楷書に調和する平仮名の筆使いを意欲的に確かめている。 【知】楷書に調和する仮名の筆使いを理解している。 【技】楷書に調和する仮名の筆使いを理解して書いている。
		1	○前時で書いた「いろは歌」と手本を見比べて、自己の課題を確認して練習する。	
		1	○前時までの自己の課題を確認して、毛筆で「いろは歌」を書く。	
◆硬筆で書いてみよう (P24-25) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○平仮名の特徴と、楷書と平仮名の調和を理解して書く。	1	1	○毛筆で学習したことを意識して、硬筆で「鳥啼歌」とことわざを書く。	【関】毛筆で学習した楷書と平仮名の調和のさせ方を意欲的に生かそうとしている。 【関】「いろは歌」以外の平仮名を全て使った歌に関心をもっている。 【知】楷書と平仮名の調和のさせ方を理解している。 【技】毛筆で学習した平仮名の特徴と、楷書と平仮名の調和を理解して書いている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
三 行書を書こう ◆行書の特徴を理解して書こう「ぶなの森」 (P27-29,32-33) ◎[知識及び技能](3)エ(イ) ○行書の基本的な筆使いを確認し、点画の連続・変化を理解して書く。	2	2	○行書の基本的な筆使い(点・横画・右払い・左払い・縦画・折れ・曲がり・反り)を理解する。 ○楷書に比べて、点画の連続と変化が顕著であることを理解して「栄光」を書き、自己の課題を確認する。 ○前時までの自己の課題を確認して、「栄光」のまとめ書きをする。	【関】行書の基本的な筆使いを意欲的に確かめている。 【知】行書の基本的な筆使いと、点画の連続・変化・省略、筆順の変化を理解している。 【技】行書の基本的な筆使いと、点画の連続・変化・省略、筆順の変化を理解して書いている。
◆行書の特徴を理解して書こう「草原」 (P30-33) ◎[知識及び技能](3)エ(イ) ○行書の基本的な筆使いを確認し、点画の省略、筆順の変化を理解して書く。	2	2	○楷書に比べて、点画の省略と筆順の変化が顕著であることを理解して「草原」を書き、自己の課題を確認する。 ○前時までの自己の課題を確認して、「草原」のまとめ書きをする。	
◆硬筆で書いてみよう (P34-35) ◎[知識及び技能](3)エ(イ) ○行書の特徴を理解して硬筆で書く。	1	1	○毛筆で学習したことを意識して、硬筆で「栄光」「草原」を書く。 ○行書の基本的な筆使いと、点画の連続・変化・省略、筆順の変化を理解して、硬筆で漢字を書く。	【関】毛筆で学習した行書の特徴を意欲的に生かそうとしている。 【知】行書の特徴を理解している。 【技】毛筆で学習した行書の特徴を理解して書いている。
◆確かめよう (P36-37) ◎[知識及び技能](3)エ(ア)、(イ) ○一年間で学習したことを理解して、漢字や文章を硬筆で書く。	1	1	○一年生で学習した楷書と平仮名、行書の特徴などを想起しながら硬筆で練習する。	【関】毛筆で学習した楷書と平仮名、行書の特徴を意欲的に生かそうとしている。 【知】一年生で学習した楷書と平仮名、行書の特徴を理解している。 【技】一年間で学習したことを理解して書いている。
◆書き初めをしよう「輝け未来」「自主独立」 (P41-48) ◎[知識及び技能](3)エ(ア)、(イ) ○学習したことを生かして書き初めをする。		1	○書き初めについて理解する。	【関】毛筆で学習した楷書と平仮名、行書の特徴を意欲的に生かそうとしている。 【知】一年生で学習した楷書と平仮名、行書の特徴を理解している。 【技】一年間で学習したことを理解して書いている。
		1	○書き初めの姿勢を確認する。 ○手本を選び、該当する書字のポイントを確認して、半紙を使って練習する。 ○文字の大きさや配置・配列、前時までの自己の課題を確認して練習する。	
		1	○学習したことを意識しながら、清書をする。	